

HONDA NSX TRIBUTE BY ITALDESIGN

伝統を受け継ぎ、進化へとつなぐオマージュ

- **イタルデザインと日本**: 1968年から共通の価値観を基盤に、革新的なビジョンを育んできた文化交流
- **東京オートサロン2026**: 高度な技術力と情熱を象徴するブランドとモデルを称える、理想的な舞台
- **イタルデザインによるホンダ NSX トリビュート**: 高い走行性能、信頼性、そして日常での使いやすさを備えたNSXの本質を尊重し、その魅力を現代の視点で再構築した特別なモデル。イタルデザインが企画からデザイン、設計、生産までを一貫して手がける、台数限定の特別プロジェクト

イタルデザインと日本: 1968年から続くインスピレーションと技術革新

設立当初から、イタルデザインは日本から尽きることなくインスピレーションを受けてきました。それは、日本が持つ高度な技術力だけでなく、互いの考えや価値観を理解しながら学び合う関係があったからです。

伝統を尊重しながら個性を大切に作る姿勢と、未来を見据えた革新的な発想の融合。美しさと効率を両立させ、機能を明確にしつつシンプルな美しさを追求するデザイン。ユーザーとのやり取りをもとに丁寧に設計し、自然で快適な操作体験を提供すること。これらの考え方こそが、長年にわたりイタルデザインと日本の関係を支えてきた基本理念です。

この関係において重要な役割を果たしたのが、宮川秀之氏です。宮川氏は、日本とイタルデザインの間に文化的な架け橋を築き、イタルデザインの日本における評価を確立するとともに、新たなプロジェクトやチャンスへの道を切り開きました。

宮川氏が築いた信頼のバトンは、現在もイタルデザインのスタッフによって誠実に受け継がれています。60年近く前に始まったこの文化的・技術的な交流は、今もなお大切に育まれ、常に新しい挑戦として更新され続けています。

そして今日、この長年の経験と信頼は、日本の厳格なエンジニアリングとイタリアならではの個性的なデザインを融合させるプロジェクトとして結実しています。

3つの節目を祝して

ホンダは、初のF1勝利から伝説のスポーツカーの誕生、さらに耐久レースでの栄光など、数々の記憶に残るページを自動車史と技術革新の歴史に刻んできました。

- 1965 — メキシコグランプリ: HondaがF1で初優勝
- 1990 — NSXシカゴ・オートショーでデビュー: スポーツカーのアイコンに
- 1995 — ル・マン24時間レース(サルテサーキット): NSXがGT2クラス優勝。チームと日本車にとって初の快挙

イタルデザインは、これらのホンダの挑戦と技術力の歩みを祝して、2025年に特別なプロジェクトを企画しました。

NSXトリビュート by イタルデザイン — プロジェクト

日本の優れた技術力の象徴であるホンダと、クリエイティブ、エンジニアリング、製造まで一貫したサービスを提供できる世界でも数少ないワンストップショップであるイタルデザインとのコラボレーションで誕生した「**ホンダ NSX トリビュート by イタルデザイン**」は、成功の歴史に新たな1ページを刻むモデルです。

ホンダ公認のこのモデルは、NSXの走行性能、信頼性、使いやすさといった本質的な価値を忠実に受け継いだ特別なモデルです。イタルデザインがデザインからエンジニアリング、限定少量生産まで一貫して手がけ、特別仕様モデルとして形にしたものです。

イタルデザイン・デザイン部門責任者ホアキン・ガルシア氏はこう語ります。
「ホンダNSXは大胆なモデルであり、スーパーカーの世界におけるまさに革新的な存在です。革新的な発想から、市場で受け入れられるスポーツカーのアイコンへと進化しました。イタルデザインには、大胆なアイデアを具体的な形にし、先進的なプロジェクトを極めて少量の限定モデルとして実現するための全てのノウハウがあります。今回のトリビュートも例外ではなく、常に未来を見据えた取り組みです。これは単なるレストモッドでも、単純な懐古的プロジェクトでもありません。オリジナルのレーシングDNAを受け継ぎながら、記憶と革新、最先端の技術と精緻な職人技を融合させたモデルです。また、イタリアならではのデザイン表現に加え、現代的なスタイリングとエンジニアリングの工夫も盛り込んでいます。」

NSXトリビュート by イタルデザイン — デザイン

NSXトリビュート by イタルデザインは、ボディを見たときに異なる2つの印象を与えるデザインが特徴です。

上部は「チャンピオンシップホワイト NH0」で塗装され、初代NSXのNSX-Rを思わせる色合いで、見るものの心を惹きつけます。

下部は光沢のあるブラックで仕上げられ、技術力とレーシングマシンらしい表現を演出しています。

フロントフェイスはモデルの“名刺”とも言える部分です。伝統を受け継ぎつつ、Hondaの印象的で強烈なアイデンティティを“H”の形で表現しています。これは単なる文字通りの再現ではなく、ブランドの象徴を想起させるデザインであり、このトリビュートでは初代NSX-Rのオリジナル赤エンブレムで再現されています。

イタルデザイン・シニアエクステリアデザイナーのクリスティアーノ・フラッキア氏は語ります。

「ボディの力強さを強調し、緊張感と躍動感を与えるようデザインしましたが、オリジナルのラインの純粋さと美しさは損なわないように仕上げました。オリジナルモデルの低く流れるようなプロポーションを再現し、傾斜したボンネットと全面ブラックのグリーンハウス(キャビン部分)によってシルエットを軽やかにし、スポーティさを際立たせています。フロント部分では、ヘッドライトを光沢のあるブラックのカバーに収めることで、車のフロントフェイスを強調し、周囲の面とのコントラストで奥行きを生み、精密さとスポーティさの印象を高めています。ポップアップ式のヘッドライトは採用せず、アイライン状のデザインに刷新し、現代的な表現を取り入れました。」

「サイドビューでは、ボディは力強さとスピード感を表現し、機能美と最先端技術を融合させています。彫刻のような形の白い面は、ブラックのサイドスカート、ホイールアーチ、光沢のあるブラックのルーフとのコントラストを際立たせ、またCピラーには大胆なフローティングフィンを配し、エンジン冷却のための空気取り入れ口を巧みに隠しています。前輪19インチ、後輪20インチのヨコハマ製タイヤが、レーシングスタイルをさらに際立たせています。NSXトリビュート by イタルデザインのすべての外装パーツは綿密に検討され、技術的な機能とデザインの美しさが融合しています。」

フラッキア氏は続けます。

「私たちの目標は、クルマにさらに技術的で高性能な性格を与えることでした。ス

ポイラー、ディフューザー、サイドスカート、エアアウトレットなど、あらゆる空力パーツを徹底的に精査しました。すべては性能を最大化しつつ、デザインの表現力を損なわないように考えられています。ルーフに設けられたエアインテークは、NSX-R GTの同様の装備を想起させるもので、当時としては非常に高度なエンジニアリングの成果であり、洗練された空力制御システムの重要な一部となっています。」

イタルデザイン・シニアエクステリアデザイナーのガスパーレ・コンティチェッリ氏は説明します。

「リアの特徴は、歴代スポイラーの再解釈にあります。高速走行時の車両安定性を向上させるための解決策であったNSXのリアウイングは、連続した視覚的要素として再解釈され、浮遊感のある、洗練された機能美を備えたデザインへと昇華しています。この造形は、軽快さと躍動感を表現しています。リアライトはフロント部のようにカウリングで囲われることはなく、ブラックの背景から一つひとつ独立して浮かび上がるように配置されています。その下部に配置された温風排出用ディフューザーには機能的な溝が設けられており、これは当社の近年のコンセプトモデルに採用されたデザイントリートメントを想起させるものです。」

室内におけるデザインの考え方は明確です。必要な部分に手を加えつつも、全体を大きく変えることはせず、初代NSXにインスパイアされたデザインを洗練させ、市販モデルに近い仕上がりを実現することです。

イタルデザイン・シニアインテリアデザイナーのアレッサンドロ・トロンビン氏は語ります。

「デザインの着想は、初代NSXのダブルコックピットにあります。現代的なアプローチで再解釈しています。運転席と助手席を包み込む要素を取り入れ、つながりと連続性を生み出しています。ダッシュボードからエアアウトレット、ドアパネルまで流れるデザインで、F1マシンに着想を得た洗練された造形要素が生まれ、包み込むような一体感と連続性が実現されています。また、ダッシュボードの小さなヘルメットや、12番のナンバー、Hondaのロゴなどの細部は、アイルトン・セナへのさりげないオマージュで、クルマの歴史を知る人に向けた敬意を込めたディテールとしてデザインされています。」

NSXトリビュート by イタルデザイン — 特別限定モデル

イタルデザイン・ビジネスデベロップメントマネージャーのアンドレア・ポルタ氏は述べています。

「私たちにとって、ホンダ NSX トリビュート by イタルデザインは、革新への挑戦

、希少価値への追求、職人技への敬意、そして伝統への尊重という、当社の理念を体現する特別なプロジェクトです。続けて、東京オートサロンは、日本とのつながり、若者との接点、そしてチューニング文化との結びつきを強めるのに最適な舞台です。ここではクルマへの本物の情熱を感じることができ、この歴史的なモデルに敬意を表すのにふさわしい場です。2025年は、NSXにとって特別な3つの節目の年となりました。ホンダのF1初勝利から60年、初代NSXの市販開始から35年、そしてル・マンでの勝利から30年という記念すべき年です」

「私たちはこの3つの節目の年を記念してのお祝いを考えました。ホンダ NSX トリビュート by イタルデザインのプロジェクトは、第1にホンダへのオマージュであり、この機会を与えてくれたことに感謝しています。そして第2に、スタイルと性能の両面でヨーロッパのスーパースポーツに挑戦した、日本の象徴的なクルマの一つである初代NSXへの敬意を表すものです。私たちの厳選された限定モデルは、右ハンドル仕様のみで生産され、お客様一人ひとりと直接向き合う形で提供させていただきます」

「デザインやJDM(日本車文化)の哲学に情熱を持ち、洗練された美しさや人間工学的な快適性、精密なエンジニアリングを求める方から、90年代のアイコンを愛し、運転する喜びを存分に味わいたい方、さらには伝統と革新を調和させたハイパーカーを愛する方まで、幅広い層に向けたモデルです」

「それぞれの1台が、伝統と先進技術の融合を象徴しています。ホンダ NSX トリビュート by イタルデザインは、歴史への敬意を示すとともに、未来への挑戦を体現する1台なのです」

Special Thanks

- Mr.Hiro Car Studio
- ヨコハマタイヤ — ADVAN／ヨコハマリム

Italdesign
Press Office
pr@italdesign.it



Questa e-mail ti è stata inviata perché presente nell'elenco dei nostri contatti.

I dati sono stati raccolti attraverso i siti web di Italdesign Giugiaro S.p.A., eventi di presentazione prodotto e tramite contatto diretto telefonico.

Per cancellare la sottoscrizione, [clicca qui](#)

Italdesign Giugiaro S.p.A.

Registered office
via San Quintino, 28 Torino, Italy
Headquarters
Via Achille Grandi, 21/25 Moncalieri (TO), Italy